

有害プランクトン警報 (H29 No.1-1)

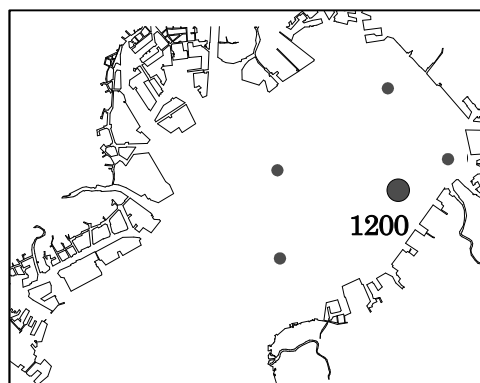
平成 29 年 9 月 21 日
千葉県水産総合研究センター

東京湾内湾でカレニア ミキモトイが、 警戒を必要とする基準を超える密度で確認されました。

平成 29 年 9 月 20 日に県環境研究センターが行った調査において、内湾東部で有害プランクトンのカレニア ミキモトイが広い範囲（図中●）で確認され、特に五井沖で 1,200 細胞/mL と高濃度です。今後、他の海域でも増加する可能性があり、養殖魚、蓄養魚等の魚介類がへい死する恐れがありますので、警戒してください。

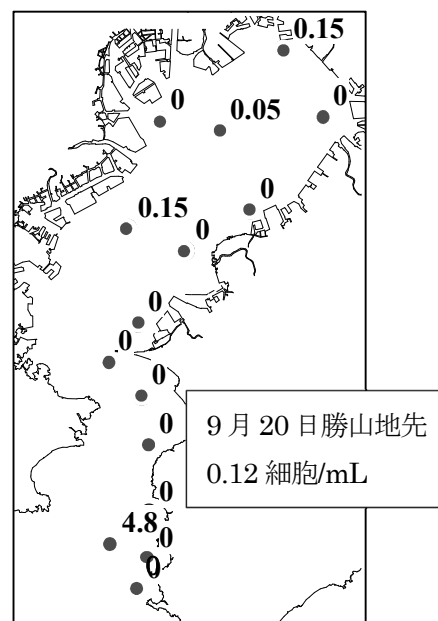
- ・ 確認日 平成 29 年 9 月 20 日
- ・ 確認海域 東京湾内湾
- ・ プランクトンの種類 カレニア ミキモトイ

注意基準を超えた調査地点	プランクトン密度 (細胞/mL)
五井沖	1,200 (暫定値)
注意基準密度	100
警戒基準密度	1,000



● 9 月 20 日に確認された地点 (細胞/mL)
(環境研究センター調査)

- 1 本種は西日本に広く分布する小型のプランクトン (20~40 μm) で、海水 1 mL あたり数千細胞を超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性があります。アサリへの死亡例はありませんが、赤潮状態の場合は夜間酸欠になります。
人に被害を及ぼす貝毒の原因プランクトンではありません。
- 2 9 月 13 日の調査では内湾で 0~0.15 細胞/mL 及び内房で 0~4.8 細胞/mL でした。9 月 20 日は内湾の 1 点 (五井沖) で 1,200 細胞/mL (暫定値) と急増しました。
- 3 海況の変化や魚の動きに十分注意し、必要に応じて餌止め等、早めの対応をお願いします。
- 4 赤潮等、海域の異変を発見した場合は水産総合研究センター、漁業資源課又は水産事務所に連絡してください。



9 月 13 日の調査点別プランクトン密度 (細胞/mL)
(水産総合研究センター)

担当 水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
電話 0439-65-3071
FAX 0439-65-3072